

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	ICTによる情報発信・伝達事業	事業期間	平成 23 ~ 年度	整理番号	01080111
担当部署	危機管理室	防災対策課	防災対策係	作成担当者名	平澤 浩二
				連絡先	136

計 画 目 的 的 手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	08	第8章 ひとにやさしい情報文化都市づくり
				施策	02	第2節 豊かな生活環境の実現
				細施策	01	ITを活用した安全安心な市民生活の実現
				事務事業	01	ITによる防災減災対策事業
予 算 事 業 名	災害情報伝達事業費		会計コード	001	款	09
			項	01	目	05
			事業	06		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時の住民への緊急情報の伝達手段、被災状況の迅速な把握及び避難状況等の状況把握の手段等にICT（情報通信技術）を活用します。 ・ICT（Information and Communication Technology）とは、情報・通信に関連する技術一般の総称であり、従来頻りに用いられてきた「IT」とほぼ同様の意味で用いられるもので、「IT」に替わる表現として定着している。 					
現状と背景 （どうして）	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害が各地で発生し、防災・減災に対する市民の関心が高まっています。 ・ICT（情報通信技術）を活用した情報伝達手段が求められています。 					
目 対 象	受益者 （誰のために）	市民及び市内滞在者				
	対象 （直接働きかける）	ICT（情報通信技術）				
的 意 図 （どんな状態にしたいか）	多様な情報収集手段により、災害情報が入手できる。					
手 段 ・ 方 法 （どうやって）	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時災害放送局の放送を、防災行政無線を「補完」する情報伝達手段として活用する。 ・防災行政無線が聞こえにくい“屋内”と“車中”にも、できるだけ情報が届くようにする。 ・放送局のスタジオから放送することで、庁舎の被災で防災行政無線が使えなくなる事態にも備える。 ・旅行者やスキー客など、たまたま被災地に居合わせた国内外からの人々にも情報を伝える。 ・一度のデータ入力によって、多様なメディアや端末に一元的に情報が届くようにする。 ・被災者の生活復旧を支援する情報、特に大規模災害時の情報の提供が安定継続するようにする。 ・アラートを活用する 					
N 評 価 指 標 の 作 成	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		臨時災害放送局の設置準備	臨時局	件	LCV（臨時局設置者）との災害時協定の締結	1
		公共情報 commons の活用	公共情報 commons	回	公共情報 commons のテスト配信	2
		緊急速報メール（Eメール等）の活用	緊急速報メール	回	緊急速報メールのテスト配信	2
	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		ICTを活用した災害情報の提供	ICT活用状況	%	提供開始したICT技術/提供可能なICT技術	100

項 目	単 位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円			110,160	110,160	111,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円			110,160	110,160	111,000
職員数	人	0.05	0.02	0.02	0.02	0.02
正規職員	人					
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合 計	人	0.05	0.02	0.02	0.02	0.02
対 象（者）数						
延 利 用（者）数 (b)						
単 位 コ ス ト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受 益 者 負 担 額	円					
市民一人当たりのコスト	円	-	-	2.00	2.00	5.00
D 活 動 指 標	臨時災害局	目標	件	1	1	1
		実績	件	0	1	1
	達成率	%	0.00	100.00	100.00	100.00
	公共情報 commons	目標	回	2	2	2
		実績	回	0	0	0
	達成率	%	0.00	0.00	0.00	0.00
緊急速報メール	目標	回	2	2	2	
	実績	回	1	0	0	
達成率	%	50.00	0.00	0.00	0.00	
O 成 果 指 標	ICT活用状況	目標	%	3	3	
		実績	%	1	0	
	達成率	%	33.33	0.00	0.00	
-	目標	-				
	実績	-				
達成率	%	-	-	-	-	
備 考	今後期待できるICT…「TV-Lowマルチメディア放送」「安全安心メール（オクレンジャー等）」「アラートメール（防災気象情報システム）」 平成26年度からは公共情報 commons の利用料が必要となります。					

事務事業名	ICTによる情報発信・伝達事業	事業期間	平成 23 ~	年度	整理番号	01080111
担当部署	危機管理室	防災対策課	防災対策係	作成担当者名	平澤 浩二	連絡先
						136

期	目 標	実 績	課 題
第1期	公共情報コモンズのテスト	こうほうちの連携メール配信	使いこなすまでには時間がかかることが分かった
第2期	公共情報コモンズ、緊急速報メールのテスト配信	こうほうちの連携メール配信	テスト配信を借り返し、本番に使いこなすことが必要
第3期	公共情報コモンズ、緊急速報メールのテスト配信	こうほうちの連携メール配信 長野県防災情報システム説明会参加	テスト配信が実施できなかった
第4期	公共情報コモンズ、緊急速報メールのテスト配信	こうほうちの連携メール配信 エルモウイジェットサービス申込み	テスト配信が実施できなかった

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定					
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定						
チェック					4										3											B
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時災害放送局の設置には地元コミュニティFMを開局しているLCVに協力してもらう必要がある。 ・公共情報コモンズの運用には、県内どこにいてもその地域の災害関連情報が入手できる状態にあることが安全安心につながる（一部地域だけ不参加だと、「データが入力されていない＝避難情報が出ていない」と誤解される懸念がある） ・緊急速報メールの配信は3社（ドコモ・KDDI・ソフトバンク）に送信しなければならない。 ・アラートの活用について、報道機関等と協議する必要がある。 																				記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要				
	前年度総合評価判定										B															
	前年度評価シート整理番号										08010117															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前										細 施 策 評 価 後									
		ITC（情報通信技術）の進歩は災害情報発信には欠かせないものになってきている。										ITC（情報通信技術）の進歩は災害情報発信には欠かせないものになってきている。 情報発信に必要な通信機器の選定が重要となる。								
	前年度改革・改善策の実施状況										一部実施									
	前年度細施策評価における今後の方向性																			

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前										細 施 策 評 価 後											
	今後の方向性	成 果 の 方 向 性	拡 充			②			⑤	レ	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充								レ	
		現 状 維 持			③			⑥		⑨			現 状 維 持									
		縮 小			④			⑧		⑩			縮 小									
		休 廃 止			①								休 廃 止									
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性											皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性									
改革・改善策	公共情報コモンズを活用し、緊急速報メール・市防災メール・市ホームページへ情報配信するシステムの構築										公共情報コモンズを活用し、緊急速報メール・市防災メール・市ホームページへ情報配信するシステムの構築 特に防災メールのバージョンアップ、テレビへの情報発信システムも考えていく必要がある。											

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	防災対策課長	東 城 淳
---------	------------	---------	--------	-------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	情報発信の在り方検討事務	事業期間	平成 27 ~ 28 年度	整理番号	01030209
担当部署	企画総務部	秘書広報課	広報広聴係	作成担当者名	宮坂未沙希
				連絡先	230

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	08	第8章 ひとにやさしい情報文化都市づくり							
				施策	02	第2節 豊かな生活環境の実現							
				細施策	04	新しいコミュニケーションツールの活用							
				事務事業	02	SNS活用事業							
	予算事業名			会計コード	001	款	02	項	01	目	02	事業	02
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	ツイッター、フェイスブック、メールマガジンなどのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を新たな広報媒体として活用できるか検討し、情報発信の手段とする。											
	現状と背景 （どうして）	現在、市が行っている情報発信は「広報ちの」ホームページ、ビーナチャンネル、LCVFMが主であるが、時代の変化に伴い新たな広報媒体による情報発信を検討する必要がある。											
	目的	対象	受益者 （誰のために）	市民及び茅野市の情報を知りたい方。									
		対象	職員	職員									
	的	意図	（どんな状態にしたいか）	新たな情報発信媒体の検討と情報発信を行う。									
	手段・方法 （どうやって）	茅野市情報発信検討委員会で新たな情報発信媒体の可能性を検討する。 検討した結果、情報発信媒体として活用可能となった場合は、企画課と協議の上、庁内手続きを経て運用を開始する。											
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値							
		茅野市情報発信検討委員会で協議	開催回数	回	第4次茅野市総合計画後期計画目標指数年6回開催	6							
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値							
		メールマガジンによる情報の発信	メールマガジン登録者数	人	累計1,000人	1,000							
		メールマガジンによる情報の発信	メールマガジンコンテンツ数	件	累計20コンテンツ	20							

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算又は決算額）	平成28年度事業計画（予算）
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円					
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円					
	職員数	人		0.07	0.10	0.06	0.06
	正規職員	人					
	嘱託職員	人					
臨時職員	人						
合計	人		0.07	0.10	0.06	0.06	
	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	8.00
活 動 指 標 （ D O ）	開催回数	目標	回			6	6
		実績	回			1	1
		達成率	%	-	-	16.67	16.67
	-	目標	-				
		実績	-				
		達成率	%	-	-	-	-
	-	目標	-				
		実績	-				
		達成率	%	-	-	-	-
	成 果 指 標 （ D O ）	メールマガジン登録者数	目標	人		1,000	1,000
実績			人		340	409	
		達成率	%	-	34.00	40.90	-
メールマガジンコンテンツ数		目標	件		20	20	20
	実績	件		13	14		
	達成率	%	-	65.00	70.00	-	
備考	平成25年までは「市ホームページ公開事業」の中で管理していたが、第4次茅野市総合計画後期計画で主要事務事業が分かれていることから、平成26年度から別評価とした。						

事務事業名	情報発信の在り方検討事務	事業期間	平成	～	年度	整理番号	01030209
担当部署	企画総務部	秘書広報課	広報広聴係	作成担当者名	宮坂未沙希	連絡先	230

期	目標	実績	課題
第1期	・各課からのメールマガジンの発信状況について確認する。	・メールマガジンの発信が少ない課に対し、発信を促した。	・メールマガジンへの登録者数の伸び悩みが課題。
第2期	・メールマガジンへの登録者数を増やすPRをする。	・メールマガジンに「ピーナチャンネル番組表」のラインナップを増やし、14の項目で情報発信を始めた。	・メールマガジンへの登録者数の伸び悩みが課題。
第3期	・メールマガジンへの登録者数を増やすPRをする。	・メールマガジンの案内を、「広報ちの」の裏面に一定期間掲載することにした。	・メールマガジンへの登録者数の伸び悩みが課題。
第4期	・情報発信検討委員会を開催する。 ・ARIについての検討をする。 ・パノラマビューカメラの活用について検討する。	・情報発信検討委員会は回覧版による簡易開催とし、ARIについて及びパノラマビューカメラの使用方法について解説した。 ・メールマガジンの案内を健康管理センターに備付け、こども館では配布を依頼した。	・SNSの活用について検討をする。

事中評価																						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 新たにラインナップを追加し、目的別の情報発信を充実させた。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	成果の方向性	②	⑤	⑦	拡大	③	⑥	⑨	現状維持	④	⑧	⑩	縮小	①			休廃止			
今後の方向性	成果の方向性		②	⑤	⑦																	
	拡大		③	⑥	⑨																	
	現状維持		④	⑧	⑩																	
	縮小	①																				
休廃止																						
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） ツイッター、フェイスブック、メールマガジンなどのSNSを活用した有効な情報発信のほか、広報紙へのAR導入についても検討したい。	<table border="1"> <tr> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>現状維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性																
皆減	縮小	現状維持	拡大																			
コスト投入の方向性																						

評価年度	前年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					4					4	A
チェック																
課題	平成26年7月から、13のラインナップを揃え、茅野市メルマガ「女神のたより」の運用を開始した。平成26年12月には、今年度第1回目の情報発信検討委員会を開催し、「i広報紙」「AR」「災害時の情報収集と発信」について協議した。平成27年3月には、「i広報紙」の運用を開始した。「AR」については継続して協議をしていく。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号																

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	情報分野の急速な進展に伴い、有効な情報発信の取組が期待されている。「メルマガ」や「i広報紙」は市からの積極的な情報発信の方法として有効な手段と考えられるため、多くの市民に活用されるようにしたい。災害時に備え、SNSを活用した災害時の情報収集と発信方法について検討を進める必要がある。	情報分野の急速な進展に伴い、有効な情報発信の取組が期待されている。「メルマガ」や「i広報紙」は市からの積極的な情報発信の方法として有効な手段と考えられるため、多くの市民に活用されるようにしたい。平成27年度末の「i広報紙」登録者数は224人。災害時に備え、SNSを活用した災害時の情報収集と発信方法について検討を進める必要がある。								
前年度改革・改善策の実施状況	-					前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性	細施策評価前					細施策評価後				
	成果の方向性	拡大		②	⑤	⑦	拡大			
現状維持			③	⑥	⑨	現状維持			レ	
縮小			④	⑧	⑩	縮小				
休廃止	①					休廃止				
皆減	コスト投入の方向性					皆減				
縮小	現状維持					現状維持				
拡大	拡大					拡大				
改革・改善策	<ul style="list-style-type: none"> メルマガでの情報発信の充実と推進 「i広報紙」の活用推進 「AR」活用についての協議 「SNSについての検討」が第3次行財政改革推進プログラムの項目となっているので、その検討を行う。 					<ul style="list-style-type: none"> メルマガでの情報発信の充実と推進 「i広報紙」の活用推進 「AR」活用についての協議 「SNSについての検討」が第3次行財政改革推進プログラムの項目となっているので、その検討を行う。 				

最終評価年月日	平成28年4月13日	最終評価責任者	秘書広報課長	北沢政英
---------	------------	---------	--------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

#N/A

事務事業名	SNS・スマート端末活用事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	01040309
担当部署	企画総務部	企画戦略課	情報化推進係	作成担当者名	土橋 新一			連絡先	156

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	08	第8章 ひとにやさしい情報文化都市づくり						
				施策	02	第2節 豊かな生活環境の実現						
				細施策	04	新しいコミュニケーションツールの活用						
				事務事業	01	スマート端末活用事業						
	予算事業名				会計コード		款		項		目	事業
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	スマートフォン・タブレット端末などの新しいコミュニケーションツールを活用したきめ細やかな情報発信など、市民生活がさらに便利になるサービス提供に取り組みます。										
	現状と背景 （どうして）	IT業界は、他の分野と比べ技術革新などの変化が早く、近年ではスマートフォン・タブレット端末など、新たなコミュニケーションツールが急速に普及しています。これらのコミュニケーションツールには、市民生活をさらに便利にできる様々な可能性があるため、これらを活用した新たな市民サービスを検討していく必要があります。										
	目的	受益者 （誰のために）	市民									
		対象 （直接働きかける）	コンテンツ提供者									
		意図 （どんな状態にしたいか）	新しいコミュニケーションツールを活用したきめ細やかな情報発信など、市民生活がさらに便利になるサービス提供をする。									
	手段・方法 （どうやって）	新しいコミュニケーションツールの活用方法の検討を茅野市情報発信検討委員会において検討していく。										
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値			
		茅野市情報発信検討委員会の開催数	委員会の会議開催数	回					6			
		スマートフォン・タブレット端末などを活かした情報発信の回数	情報発信の回数	回					12			
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値			
		スマートフォン・タブレット端末などを活かした情報発信の市民満足度	情報発信の市民満足度	%					50			

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円						
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円						
	職員数							
	正規職員	人		0.01	0.01	0.01	0.01	
	嘱託職員	人						
臨時職員	人							
合計	人		0.01	0.01	0.01	0.01		
	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	1.00	
活 動 指 標 （ ）	委員会の会議開催数	目標	回	6	6	6	6	
		実績	回	2	2	2	2	
	情報発信の回数	目標	回	12	12	12	12	
		実績	回	0	0	0	0	
	-	達成率	%	-	0.00	0.00	0.00	
		目標	回					
	-	実績	回					
		達成率	%	-	-	-	-	
	成 果 指 標 （ ）	情報発信の市民満足度	目標	%	50	50	50	50
			実績	%	0	0	0	0
-		達成率	%	-	0.00	0.00	0.00	
		目標	%					
-	実績	%						
	達成率	%	-	-	-	-		
備考								

事務事業名	SNS・スマート端末活用事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	01040309
担当部署	企画総務部	企画戦略課	情報化推進係	作成担当者名	土橋新一	連絡先	156

期	目標	実績	課題
第1期	①ipadの庁内活用促進し利用率を上げていく ②茅野市デジタルエコミュージアムを推進するため映像コンテンツを制作し、八ヶ岳総合博物館で試験運用開始していく ③公衆無線LANの整備計画を立てる(市外部施設への整備) ④観光・防災WiFiステーションの導入を検討していく	①5月31日茅野市水防・土砂災害訓練においてipadを活用し防災対策本部である第2応接室に栗沢区公民館から映像送信した ②八ヶ岳総合博物館でのデジタルエコミュージアムを推進するための委員会に3回出席。来年度本格稼働に向け計画立案 ③茅科湖畔水明閣にてWiFi整備についてNTTと現地にて打合せ	④観光・防災WiFiステーションについては国の補助を受けるためには多額の設備を要するため、市単独事業で予算を掛けず整備する方法と比較検討が必要
第2期	①ipadの庁内活用促進し利用率を上げていく ②茅野市デジタルエコミュージアムを推進するため映像コンテンツを制作し、八ヶ岳総合博物館で試験運用開始していく ③公衆無線LANの整備計画を立てる(市外部施設への整備) ④観光・防災WiFiステーションの導入を検討していく	①6月30日茅野市防災訓練においてipadを活用し防災対策本部である永明中学校に諏訪中央病院から映像送信した ②八ヶ岳総合博物館ではタブレット端末を活用したデジタルコンテンツの展示をQRコードを作成し試験運用を開始している ③茅科湖畔湖の観光事業主にフレッツWiFi整備について観光協会、NTTと現地にて説明する	①ipadを導入して3年が経過するが、運用していく中で当初に比べOSが重くなり処理に待たされるようになり、画面も小さいのでどうかにならないかといった意見が利用者から出ている
第3期	①ipadの庁内活用促進し利用率を上げていく ②茅野市デジタルエコミュージアムを推進するため映像コンテンツを制作し、八ヶ岳総合博物館で試験運用開始していく ③公衆無線LANの整備計画を立てる(市外部施設への整備) ④観光・防災WiFiステーションの導入を検討していく	③茅科湖畔湖の観光事業主にフレッツWiFi整備について観光協会、NTTと現地にて説明した ④公衆無線LANの整備計画を実施計画に合わせて立案した	④観光・防災WiFiステーションの設置には1000万円以上かかることから見送ることとした。
第4期	①ipadの庁内活用促進し利用率を上げていく ②茅野市デジタルエコミュージアムを推進するため映像コンテンツを制作し、八ヶ岳総合博物館で試験運用開始していく ③公衆無線LAN整備計画に基づき公衆無線LANを本庁舎7・8階、議会棟、茅野市公民館への整備運用を開始する	④公衆無線LAN整備計画に基づき公衆無線LANを本庁舎7・8階、議会棟、茅野市公民館へ3月28日に整備し運用を開始した	

事中評価																													
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	<table border="1"> <tr> <td>今</td> <td>成果</td> <td>拡充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> <td>レ</td> </tr> <tr> <td>後</td> <td>の</td> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> <td></td> </tr> <tr> <td>の</td> <td>方向性</td> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> <td></td> </tr> <tr> <td>方向性</td> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性</p>	今	成果	拡充	②	⑤	⑦	レ	後	の	現状維持	③	⑥	⑨		の	方向性	縮小	④	⑧	⑩		方向性	休廃止	①				
今		成果	拡充	②	⑤	⑦	レ																						
後		の	現状維持	③	⑥	⑨																							
の		方向性	縮小	④	⑧	⑩																							
方向性	休廃止	①																											
現在導入しているipadについては平成24年度9月補正備品費にて整備しているが、来年は入れ替えをしてもよい時期に来ている																													
公衆無線LANを普及していくための茅野市WiFi計画を作成した。これを基に実施計画に盛り込んでいく																													
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)																													

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定	
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定		
評価の観点					4					4					4	A	
チェック																	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 茅野市の文化財・史跡等をデジタルコンテンツとしてアーカイブしていくかが問題 デジタルコンテンツ作成については文化財課、観光課、秘書広報課との連携が必要 市民満足度調査などにスマート端末についての意識調査をすることも必要 茅野市としての公衆無線LAN総合計画を策定して、観光、防災の面から公共施設、観光地に外国人が利用しやすい公衆無線LANを計画的に整備していく 															記号の定義	A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要
前年度総合評価判定																A	
前年度評価シート整理番号																	

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	市民プランにある当初からの検討テーマで継続されてきているが、実施の目的が立たなくなっている。アーカイブするデジタルコンテンツを作ろうとすると、大変な手間が掛かるため、行政放送のコンテンツを再利用できるようにするなど検討していく	市民プランにある当初からの検討テーマで継続されてきているが、実施の目的が立たなくなっている。アーカイブするデジタルコンテンツを作ろうとすると、大変な手間が掛かるため、行政放送のコンテンツを再利用できるようにするなど検討していく								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改革・改善の方向性	細施策評価前					細施策評価後				
	成果	拡充		②	⑤	レ	⑦			
の	現状維持		③	⑥		⑨			レ	
方向性	縮小		④	⑧		⑩				
休廃止	①									
皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性									
改革・改善策	関係各課(企画課、秘書広報課、文化財課、観光課)と職員提案「スマートフォンを使った茅野市版デジタルエコミュージアム」の主旨について理解するための会議を開催する					関係各課(企画課、秘書広報課、文化財課、観光課)と職員提案「スマートフォンを使った茅野市版デジタルエコミュージアム」の主旨について理解するための会議を開催する				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	企画戦略課長	小平雅文
---------	------------	---------	--------	------